

会報



すいせん

2004.10.13

87号

社団法人 福井県放射線技師会

〒918-8223 福井市河水町第14号30番地 南道内装飾ビルC棟1階西
TEL 0776-57-0696 FAX 0776-57-0699発行者: 真柄 義一
編集責任者: 西郡 克寛E-mail: office@fart.dyndns.org
HP: http://fart.dyndns.org/

巻頭言

備えあれば憂いなし

副会長 小川 吉一

今年の夏は福井県に非常に大きな出来事が起きた。まず、雨の降らない梅雨で気温が高く、早くから夏になるのではないかと思っていたら、梅雨末期の7月13日に新潟・福島豪雨で被災地域のニュースの情報から災害者に対し遠くのことと感じていたが、1週間もしない7月18日に福井豪雨で、福井市、美山町、池田町、鯖江市、今立町等で土砂崩れ、河川の氾濫にて被害が起きた。被災地区の方々にはお見舞い申し上げるとともに、一日でも早く復帰して普通の生活に戻れることを祈っております。この災害で県内外の多くのボランティアの方々のおかげで復興もスムーズにいったようです。今年の夏は例年にも増して暑く、非常に厳しい作業であった。

福井県は今から7年前の(1997/1)ナホトカ号重油流出事故の時のボランティアと2度にお世話になった。こころの温かみが非常に感じたことでした。

この豪雨が一段落した8月9日には美浜原発で事故が発生し、心肺停止の人が県立病院に搬送されるとの報があり、一気に関係者は緊張した。初めて緊急時医療対策施設を使用することになる。その後、非公式ながらその後2次系の配管事故であり放射線被ばく、汚染はないとの情報があったが、まず、被ばくも想定して、測定班、医療班の体制を整えて救命救急センターの処置室に養生も行った。測定した結果、幸いにも、被ばく、汚染は無かった。結果的には準備したことは無駄にはなかったが、今回のような重症患者さんに被ばく、汚染があったらどうすればよいのか、非常に不安が残る事故でもあった。最初に多くの患者さんが搬送された市立敦賀病院は患者さんの救急処置、初期治療、患者さんの関係者、マスコミ等の対策たいへん混乱したようである。

これからこの原発事故の原因の究明をしているが、この配管の点検は一度もしていないように報道されているので人災ともいわれている。

このことは我々の働いている医療機関でもいえることでないだろうか、機器の保守管理は使用者である我々が機器の日常点検、性能維持をするために常に定期的に点検することにより、従事者および患者さんに対する安全を確保することが必要である。災害は何時起きるかわからない、「備えあれば憂い無し」との諺にもあるように機器の管理、点検及び危機管理が常に必要である。

さて、福井県技師会としては、日放技が進めている新生涯教育システムに早くから取組んできた結果、機器管理士、放射線管理士、医療安全学の取得率は全国上位となっている。今年度の看護学の講座は終了し、来年度は救急学を予定し生涯学習推進委員会を中心に取組む計画である。これまで以上に多くの方の受講を期待している。

まだ、ベーシックカードを取得していない会員は早急に取得することを願っている。今後、会員カードで学術大会、関連学会、各種研修会、各種セミナー、各県技師会主催の研修会等への参加のカウントが取得蓄積できるようになっている。このカウントが将来大きな意味を持つことになるだろう。

(社)福井県放射線技師会法人化25周年記念事業について

実行委員長 池野 徹

秋冷の候、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃は、技師会事業に対しご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて平成16年度は、福井県放射線技師会が法人設立し25周年を迎えます。そこで、標記記念事業を下記の要領にて開催することになりました。つきましては、事業開催に向け実行委員会を組織し、準備に万全を期したいと考えております。是非とも会員皆様方のご協力ご参加をお願い申し上げます。また、委員お願いの節には、何卒ご協力下さいますようお願い申し上げます。

記

開催日 平成17年3月21日(月) 祝日
会場 福井厚生年金会館 (ウエルシティ福井)
事業内容 記念講演会 (公開講座) 午前10時より『あなたもやさしくプレストケアしませんか？
“乳がん検診と早期発見について”』
講師 笠原 善郎先生 (福井県済生会病院)
田中 文恵先生 (福井赤十字病院)
乳がん患者の会代表 (予定)
技師会会員代表
記念式典 午前11時30分より
記念祝賀会 午後12時15分より
主催 (社)福井県放射線技師会
後援(予定) 福井県・福井市・福井県医師会・福井市医師会・福井新聞社・NHK福井放送局・FBC福井放送

記念事業実行役員名簿	大会長	真柄 義一				
	実行委員長	池野 徹				
	副実行委員長	小川 吉一	有房 栄嗣			
	相談役	山本信次郎	山本 稔	土谷 重男	中村 昭満	
		岡田 時治	清水 勲	花山 新一		
事業担当理事	・講演会担当	池野 徹	西出 裕子	山崎 巖		
	・式典担当	小川 吉一	石田 智広			
	・祝賀会担当	白崎伸一郎	福島 哲弥			
	・受付担当	水谷富士雄	西出 裕子			
	・展示担当	前川晃一郎	大西 正			
	・記録担当	西郡 克寛	片田 武彦			
	・総務担当	有房 栄嗣				

平成16年度 事業予定表 (16年11月～17年5月分)

月	予定日	放射線技師会関連	関連団体
11月	3(水)～6(土) 13(土)・14(日) 19(金) 19(金)～21(日) 24(水) 26(金) 28(日)	第19回放射線技師総合学会大会 (於 長崎市ブリックホール・長崎新聞社文化ホール) 第3回常務理事会 (於 事務局)	放射線技術学会中部部会 (福井大会) (於 福井県自治会館) 総合画像研究会 (於 済生会病院) 生涯教育 (MRI検査セミナー) (於 教育会館) 総合画像研究会 (於 おお田) 臨床技能検定 (於 自宅)
12月	1(水) 5(日) 9(水)～12(日) 22(水)	線管理・機器管理認定試験 (於 全国各県) 第5回常務理事会 (於 事務局)	消化管撮影研究会 (於 春江病院) 生涯教育 (乳房検査セミナー) (於 教育会館)
1月	13(水)～16(日) 26(水)	第4回常務理事会 (於 事務局)	生涯教育 (消化管セミナー 中・上級) (於 教育会館)
2月	上旬 6(日) 中旬 17(水)～20(日) 23(水) 中旬 27(日)	会報「すいせん」88号の発行 第2回勉強会 (急性腹症に対する画像診断) (於 福井県立病院) 第6回理事会 (於 事務局) ボート大会 (出身校別) (於 未定)	臨床実習指導者更新試験最終 (於 教育会館) 生涯教育 (乳房検査セミナー) (於 教育会館) 臨床技能検定 (於 自宅)
3月	2(水) 6(日) 9(水) 11(金) 11(金)～13(日) 21(月) 30(水)	法人化25周年記念事業臨時理事会 (於 事務局) 法人化25周年記念事業実行委員会 (全体会議) (於 済生会病院) 法人化25周年記念事業 (式典・講演会・祝賀会) (於 福井厚生年金会館) 第9回理事会 (於 事務局)	消化管撮影研究会 (於 中村病院) アドバンスDR T 単位認定試験 (於 全国各県) 生涯教育 (CT検査セミナー) (於 教育会館)
4月	6(水) 20(水)	第8回理事会 (於 事務局)	消化管撮影研究会 (於 福井県立病院)
5月	上旬 中旬 下旬	会報「すいせん」89号の発行 第57回(社)福井県放射線技師会定期総会	第62回(社)日本放射線技師会定期総会

毎年11月2日から8日はレントゲン週間です。啓発用ポスターの掲示をお願いします。

平成16年度

第2回理事会議事録

平成16年6月22日(火) / 於：事務所

会員数：275名

【報告事項】

○平成17年春の叙勲および褒章の潜在候補者の調査ならびに候補者の推薦について
 標記候補者の推薦を6月3日付け福放技発第1604号で、医務業務課に提出した。
 推薦者：土谷重男 中村昭満
 締切り：6月18日

○中日本学術大会(岐阜県)の座長の推薦について
 座長に有房栄嗣理事を推薦した。

○定款の一部改正の申請について
 6月9日医務業務課に、福放技発第1603号で標記申請を行った。書類審査を受け、6月18日までに指導内容が届き本手続きを行う。
 指導内容に基づき、関係書類の訂正と追加を行い6月21日付けで本申請を行った。

議題1. 各委員会の職務分掌と委員の選出について……………
 職務分掌は資料のとおり 内容の訂正を行った。
 委員の選出報告を受け、委嘱状の発行を行う。

議題2. 平成16年度事業日程について……………
 「すいせん」掲載(7月から10月)に間に合うように、各委員会事業の日程調整を行った。

議題3. アドバンス放射線技師取得にかかる基礎講座「看護学」講習会開催について
 6月1日付けで、日放技への開催申請ならびに会員に開催案内を発送した。
 開催に向けての準備について検討した。

議題4. 中日本学術大会の受付等について……………
 生涯学習管理システムに関して、岐阜県に下記の確認を行った。

議題5. 第20回放射線技師総合学術大会(長崎)について(資料3)今回より、名称も新しくなるとともに参加登録方法も資料のとおり一新された。

参加される方は、個人申込みとなっているため早めに手続きをお願いしたい。また会員への啓発を「すいせん86号」で行う。

事前登録および振り込み切は平成16年9月30日まで。キャンセル有効期限は10月31日までとなっている。事前登録振り込み用紙は、2月号JART雑誌に綴じ込んであります。

参加申込み等について説明し、参加促進と早め申込みをお願いした。

議題6. 各委員会報告……………
 議題7. その他……………

原子力防災訓練事前講習会への講師派遣について
 8月中旬から9月上旬にかけて標記講習会が予定されている。前回同様に、放射線管理士部会に依頼する。日程は未定。

イベントの申請について
 本年度事業の各研修会ならびに急患センター委託事業等について、日放技にイベント

の申請を行いポイントの充実化を図る。(担当：生涯学習推進委員会)

臨床医学概論講習会の開催について
 4月18日に予定していた標記講習会を、9月26日(日)に開催を予定する。開催については当初のとおりで、第一製薬の共催とし会場整理費として500円を徴収する。
 なお、使用テキスト(臨床医学概論)を当日配布する。

平成16年度

第1回常務理事会議事録

平成16年7月28日(水) / 於：事務所

議題1. 常務に関する事項の執行について……………
 事務局報告

会計報告
 中日本地域会長会議報告
 定款改正の手続きについて
 福井市休日急患センターならびに大野市休日急患診療所

の運営会議の報告

福井県「緊急被ばく医療研修会」の参加案内について
 平成16年度「緊急被ばく医療全国拡大フォーラム」の参加案内について

議題2. 理事会決定事項の執行について……………
 「看護学」講習会について

標記講習会を7月11日(日)から開催している。
 受講申込み：70名、内一部免除者3名 【承認】

臨床医学概論の講習会の開催について
 参加費：会場整理費として500円を徴収する。
 テキスト：参加者全員に臨床医学概論を配布する。
 【了承】

議題3. 理事会提出議案について……………
 法人化25周年記念事業について

役員の役割等について
 大会長：真柄 義一
 実行委員長：池野 徹

副実行委員長：小川 吉一 有房 栄嗣
 相談役：山本信次郎 山本 稔 土谷 重男
 岡田 時治 清水 勲

記念講演会担当：池野 徹 山崎 徹
 記念式典担当：小川 吉一 石田 智広
 祝賀会担当：白崎伸一郎 福島 哲弥

受付担当：西出 裕子 水谷富士雄
 展示啓発担当：前川晃一郎 大西 正
 記録担当：西郡 克寛 片田 武彦
 総務担当：有房 栄嗣

議題4. その他……………
 特になし

平成16年度

第3回理事会議事録

平成16年8月25日(水) / 於：事務所

会員数：292名

【報告事項】

○中日本地域会長会議報告
 7月17日(土)18日(日)に開催される学術大会時に、標記会議が開催されたのでその報告をした。

1. 日放技の現状について：熊谷会長より
2. 平成17年度学術大会について
3. 第2回都道府県野球大会について
4. 放射線測定器保有数に関する2次集約について
5. その他

- ・学術大会の参加数
- ・長崎県学術大会の県別登録数について
- ・中日本地域におけるADセミナーの開催について

○定款改正の手続きについて
 標記手続きが6月21日に完了し、7月6日付けで定款の変更が認可された。
 早急に、例年行っている法務局への届出と一緒に、住所変更手続きを行う。

7月15日に、小垣司法書士に依頼した。(役員・予算変更手続き含む)
 法務局への事務所の移転は、変更認可の以降にしかできない。また、理事会での移転
 変更に対する承認(7月28日常務理事会時)が必要となるため、議事録を作成したので事後承諾となるが承認をお願いしたい。(法的移転は8月1日から) 【承認】

議題1. 「看護学」講習会について……………
 講習料について

標記講習会を7月11日(日)から開催している。
 受講申込みが70名、内一部免除者3名となっており、会費的に多少余裕があるため、常務理事会に於いて一部免除者の受講費を2000円、受験費1000円の計3000円とする。決定をしたので事後承諾となるが承認をお願いした。
 【承認】

西出理事より、参加者数ならびに小論文提出者数、試験日等について報告された。
 試験当日は、会場準備のため役員は9時30分までに集合する。
 【了承】

試験官の選任について
 本県の教育委員2名(有房理事、西出理事)が、受験等

により試験官ができないためシニア－R T取得者の谷嶋会員（県立病院）、補助者に西郡、山中会員にお願いした。【了承】

議題2. 臨床医学概論の講習会の開催について……………木沢記念病院の井戸さんと打合せ、開催日9月26日(日)で同意を得た。【了承】

議題3. 法人化25周年記念事業について……………第1回常務理事会において、標記事業役員の役割等について検討したので(案)として提示するので検討したい。また、内容等については池野実行委員長より報告する。

常務理事会案どおり

会場の選定について

8月1日(日)に、会長ならびに副会長の3名で会場の下見を行った。

検討の結果、福井厚生年金会館（ウェルシティ福井）で行うことを決定した。会場の都合にあわせ3月21日(月)の祭日に変更する。

記念講演会の内容について

基本的な内容は、資料とおり乳ガンの検診や自己予防とシンポジウム形式で行い、講演者は下記のとおりに予定する。また福井市の乳ガン検診を、当日の3月21日に元保険センターで行えないかを打診する。

- ・笠原先生（済生会病院）：検診を中心にした内容
- ・田中先生（福井赤十字）：自己検診の面から
- ・患者様の会（EMLの会）：患者様の立場から乳ガンの早期発見の重要性
- ・診療放射線技師：乳房の検診について

の4名で、質問時間を含め90分を予定する。

実施計画書（概要）の作成について

以上の内容で、講演者に打診し計画書を作成する。なお、計画については次回「すいせん87号」に掲載する。

各担当の委員選出について

各委員は、次回理事会（10月27日予定）までに決定し報告する。【承認】

議題4. 各委員会報告……………

議題5. その他……………

美浜原発事故について

事故の対応状況と今後の対策等

今後の対応として、今回の事故の経験を生かして、管理士部会を中心に早急に連絡網の確立を行うことを申し合わせる。

原安協の緊急被ばく医療「石川フォーラム」開催の協力依頼について

11月開催を目的に、「石川フォーラム」の開催が検討されている。現在、衣笠先生が文科省と折衝中であり決定次第連絡がある。また、合わせて管理士部会を開催し、衣笠先生を講師とした研修会も検討されている。開催協力依頼があった場合、協力していくことを申し合わせる。

平成
16年度

第2回常務理事会議事録

平成16年9月22日(水) 於：事務所

議題1. 常務に関する事項の執行について

事務局報告

会計報告

全国会長会議報告

全国会長会議が、8月27日(金)に世界貿易センタービル39階東京會館で行われたので報告する。また、本会議は31階にある新事務所のお披露目を兼ねて行われた。

会議は、会長挨拶の後新任会長が紹介され議事に入った。会長挨拶では、事務所移転の経緯と旧事務所の賃貸会社の状況等についての説明があり、良い時期に移転したことを協調、立地条件に恵まれ全国各地から日帰りが可能であることや、良い環境の中で職員も業務に専念できているとのことである。

報告事項

- ・会員の動向ならびに会費納入状況
- ・会費免除規定改定に伴う諸手続について
- ・各種認定者数について
- ・会員データベース構築の進捗状況について
- ・放射線障害防止法改定に伴う「定期講習委員会」の

立ち上げについて

- ・旧事務所敷金返却に関する進捗状況について
- ・医療法施行規則一部改正について
- ・医学放射線物理連絡協議会による放射線過剰照射事故調査報告等について
- ・放射線治療品質管理士制度の動きについて
- ・医用画像情報管理士認定試験の延期について
- ・臨床技術能力検定ならびに教育委員による試験について
- ・第20回放射線技師総合学術大会について
- ・第21回放射線技師総合学術大会（第15回ACRT）の進捗状況について

協議事項

- ・定款の改正について
- ・会費免除の誘替について
- ・医療被ばく記録手帳の活用と運用について

配布資料

厚生労働省からの「医薬品・医療器具等安全性情報報告制度」資料が配付された。

「看護学」講習会事後処理について

- ・開催費用の支払いについて
- ・試験官の謝礼について
- 支給額については生涯学習委員長（西出理事）に一任する。

議題2. 理事会決定事項の執行について

臨床医学概論講習会役員会の開催について

多くの会員が出席するように事業の推進をお願いした。【了承】

11月からの事業予定について

事業予定表(案)を作成したので検討した。

新規挿入行事：11月13/14日 関連団体欄に放射線技術学会中部部会（福井大会）
法人化25周年全体会議の開催場所
福井県済生会病院 6時30分～【承認】

議題3. 理事会提出議案について

法人化25周年記念事業について

事業計画(案)の策定と今後の予定について

名称について：法人設立とするか法人化にするかは、所轄官庁と相談して決定するが現状では法人化25周年とする。

テーマについて：「あなたもやさしくプレストケアしませんか」とし副題として“乳がん検診と早期発見について”とする。

石川県からの依頼事項について

村田会長から下記の2点について協力依頼があったので検討したい。

- ・放射線災害に対するGM管スクリーニングの合同実習について
文科省より開催許可が出たので、福井との合同実習として開催したいと連絡があった。【了承】
- ・日放技、災害対策委員会への委員選出について
標記委員会の委員長に村田会長が選任されている。福井県より委員の選出を依頼された。本委員会では、放射線災害と天災時とに分けて我々の役割を検討していくことになっている。本会では、以前より放射線災害の委員として参加しているが、天災時とで2名の委員となる。(任期は2年)【小川副会長を選任した。】

議題4. その他

法人化25周年にかかる知事表彰候補者について

本日の常務理事会を表彰委員会として、下記の3名を候補者として選出した。

・清水 勲 ・花山 新一 ・森 幸子

また、功績調書ならびに本会の活動資料の確認を行った。【承認】

発送物の確認について

9月24日に事業案内の発送を予定している。

- ・レントゲン週間のポスターならびに掲示依頼書 (11/2～11/8)
- ・学術研修委員会「勉強会の案内」
…… 救急医療学との兼ね合い (10/20)
- ・福利厚生委員会「秋のレクリエーション」(10/31)
- ・管理士部会の開催案内
…… 管理士のみでなく会員も対象 (10/5)
- ・中日本地域学術大会の後抄録（参加者施設に発送：50部）【了承】

石川県防災訓練への参加案内について
本日(22日)、村田会長より標記訓練が10月28日(木)に開催されるので参加希望者を募ってきたので、会員への広報等について検討した。

開催要項を要約し、管理士部会長に連絡し参加者を募る。参加者〆切が10月1日となっているが、10月5日開催の管理士部会で再度参加者を募る。【了承】

委員会報告

● 学術研修委員会 ●

～ 第1回 学術勉強会ご案内 ～

次の日程にて第1回目の勉強会『急性腹症に対する画像診断』を開催致しますので、奮って参加して下さい。

テーマ 『急性腹症に対する画像診断』
日時 10月20日(水) 18時45分～20時30分
場所 市立敦賀病院 リハビリ棟3階 講堂
教育講演 演題名 『腹部救急疾患の画像診断』
18時45分～20時00分
講師 市立敦賀病院 消化器科部長 太田信次 先生
座長 泉ヶ丘病院 技師長 池野 徹 さん
会員発表 『急性腹症に対する事例報告』
20時00分～20時15分 / 市立敦賀病院 山崎 徹 さん
『急性腹症に関する超音波検査について』
20時15分～20時30分 / 中村病院 木村裕治 さん

『追記』

今年度開催する2回の勉強会は、アドバンスド放射線技師格取得のためのセミナー『救急医療学』(科目名 症状からみた診断への初期対応)の対象科目といたします。また、セミナーは来年9月の『救急医療学』試験に合わせ講習会を開催する予定しています。勉強会(2回とも)に参加された会員各位には、前記科目の受講時間について考慮いたします。

● 福利厚生委員会 ●

～ ハイキング&バーベキュー大会のご案内 ～

先日ご案内致しました秋のレクリエーションは、残念ながら熊騒動のために中止致します。

楽しみにされていた会員の皆様には、大変申し訳ありませんがご了承の程よろしくお願い致します。

なお、来年2月には会員の親睦を目的に「ポーリング大会」を計画していますので、多くの参加をお願い致しましてお詫びの言葉とさせていただきます。

● 生涯学習委員会 ●

～ 「看護学」講習会終了 ～

アドバンスドセミナー「看護学」が7月11日(日)、8月1日(日)、8日(日)の3日間にわたって開催され、一部免除者3名を含む69名が受講した。

今回は看護学ということで、会場は福井市医師会看護専門学校をお借りし、講師も看護専門学校の先生をお願いした。日頃患者さんと直接接している私たちにとって、看護学を学ぶことは必要であり、特に看護学実習は今後の業務に生かすことができそうである。

今後の予定：アドバンスド単位認定試験(受講済みの方のみ)
..... 平成17年3月6日(日)
アドバンスドセミナー「救急医療学」
..... 平成17年度

● 広報・組織委員会 ●

～ レントゲン週間ポスターについて ～

レントゲン週間が、毎年11月2日～8日まで、日放技を中心に各都道府県でイベントなどが開催されます。福井県放射線技師会では市民に広く啓蒙を促す目的にてポスターを各施設に配布いたします。各会員様の御協力の程よろしくお願い致します。

～ 求人・求職について ～

全国放射線養成学校(39校)に対して在学生調査を行い、9月15日付けにて終了いたしました。結果は、ホームページ(広報・組織委員会)にUPする予定です。各施設におきましてお役に立てればと思っています。又、求人・求職に関して情報がありましたら、事務局までお願いいたします。

～ IT講習会 ～

8月27日(金)ユーアイ福井にてワード上級編を開催致しました。詳細につきましては、ホームページ(広報・組織委員会)をご覧ください。ご参加ありがとうございました。

● 情報ネットワーク委員会 ●

～ ホームページのリニューアル ～

情報ネットワーク委員会では、より見やすくまた新鮮な情報を会員の皆さまにご提供できるよう技師会ホームページデザインの見直しを行なってまいりました。先般、8月1日よりリニューアル掲載の運びとなっております。また、各研究会にもHP立ち上げおよびリンクをお願いしており、今後の研究活動の情報基地としてご活用いただけたら幸いです。

～ メールニュース配信登録のご案内 ～

技師会メールニュースを企画し、同8月1日より配信を開始しております。まだまだ内容的にも不十分ではありますが、配信回数を重ねるごとに充実した内容にしたいと考えております。今回の配信は、これまで技師会にメールアドレスをお知らせいただいた方に配信させていただきましたが、すこしでも多くの皆さまに配信させていただくべく配信登録をご案内申し上げます。

メールニュース配信のお申し込み、およびご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

情報ネットワーク委員会 jouhou@fart.dyndns.org

● 出版編集委員会 ●

平成17年春に発行の「福井県放射線技師会誌 第26号」に掲載する原稿を募集します。仕事のこと、遊びのこと、家庭のことなどなんでも結構です。会員より多くの投稿お待ちしております。締切は平成16年12月30日です。お近くの出版委員又は福井県技師会にメールでお寄せ下さい。

庶務報告

会員数295 増減+20名

～平成16年9月28日現在～

藤原 康博 福井大学医学部付属病院
宮下 和幸 林病院(武生)
岸本 貴宏 予防医学協会

新入会

前田 陽子 福井赤十字病院
川上 渉 福井済生会病院
小林 鉄也 福井済生会病院
菅沼 悦子 福井済生会病院
坂井 千尋 福井済生会病院
渋谷 翼 福井大学医学部付属病院
村井 恵巳 福井大学医学部付属病院
福屋 裕子 福井大学医学部付属病院
藤淵 洋土 福井大学医学部付属病院
林 弘之 福井大学高エネルギー・研究センター
小林 正和 福井大学高エネルギー・研究センター
指江 浩之 福井大学医学部付属病院
西本 康弘 福井大学医学部付属病院

再入会

26958 石森 佳幸 福井大学医学部付属病院
29582 西島 昭彦 福井大学医学部付属病院
31364 上坂 秀樹 福井大学医学部付属病院
40568 竹林 茂治 済生会病院

改姓・住所変更

46607 手鹿由香里 木下由香里
42121 平木 美和 中丁 美和

勤務先変更

44311 北 章延 真田病院 福井大学付属病院
25190 笠原平士郎 光陽生協病院 敦賀生協診療所
〒914-0123 敦賀市和久野14-22-1 TEL0770-21-0176

会員カードを取得しよう!!

会員カードはもうお持ちですか。

会員カードって何?という方に改めてご説明します。会員カードとは、技師会が推進している生涯学習システムへの参加に必須のもので、いわば入り口の扉を開ける鍵のようなものです。このカードの取得により、イベント等への参加による生涯学習カウントを取得蓄積できます。また学術大会への参加の際にはIDカードとしての役割も果たします。言い換えれば、会員カードがないと、生涯学習システムには参加できないこととなります。

会員カードには、技師格カードとベーシックカードの2種類があります。技師格カードは、アドバンスド以上の技師格所有者が取得できるカードですが、昨年の飛び級でシニアカードを取得された方以外は、ベーシックカードを取得していただくこととなります。つまり会員であれば必ずベーシックカードを取得できるわけです。ちなみにカードの交付は無料です。

どうやって取得できるの? 2通りの方法があります。基本的にはインターネットで申請してください。日本放射線技師会のホームページ (<http://www.jart.jp>) 上の会員用システムから申請します。トップページの右端、“会員専用”の枠の中の最上段にある、会員用システムにログインをクリックしてください。

会員用システムを開くと、会員番号とパスワードの入力画面になります。最初は当然パスワードを持っていませんので、[パスワードをお持ちでない方・忘れた方]をクリックし、パスワードの申請を受けることとなります。1～2週間でパスワードが郵送されます。

パスワードをもらったら、いよいよベーシックカードの申請です。ふたたびホームページ上の会員用システムから会員番号とパスワードを入力し、申請をします。この際、デジカメで撮影した顔写真が必要になりますので、あらかじめ用意しておいてください。

インターネットで申請する環境にない方は、郵送でも申請できます。申し込み用紙は日本放射線技師会のホームページからダウンロードする必要がありますから、身近な方に依頼されるか、あるいは生涯学習委員会にお問い合わせください。

承認カウントについて

カウントの考え方 生涯学習システムでは、技師格の維持やシニアの取得にカウントが必要となります。カウントは、学術大会やセミナー等への参加、認定などにより取得することができますが、これまでに取得したポイントを承認カウントとして申請することができます。

承認カウントとは 日本放射線技師会に申請し、承認されたものが承認カウントとなります。承認カウントは総カウントに加算され、蓄積カウントとして算出されたものを維持カウントの一部として使うことができます。この承認カウントの申請には、技師格またはベーシックカードを取得していることが前提となります。また現在技師格を持っていない方は、技師格を取得するまで承認カウントを保留できます。

承認カウントの申請は今年度中です。申請期間は、平成16年4月1日から17年3月31日までで、申請の対象は平成元年から16年のカード取得時までの学術大会やイベントなどへの参加です。

申請方法 申請は、日本放射線技師会が認定するものと福井県放射線技師会が認定するものがありますので、別々に申請します。

日本放射線技師会への申請は、日本放射線技師会のホームページから、“承認カウント申請書”をダウンロードしていただき、それに記入します。カウントの対象もホームページ上で確認することができますが、学術大会への参加や発表に関しては、証明書が必要で、申請書と証明書を一緒に日本放射線技師会へ個人で郵送してください。

福井県放射線技師会への申請は、申請用のフォーマットを福井県放射線技師会のホームページからダウンロードし、それにカウント対象のイベントを項目別に記入し、福井県放射線技師会へ送付していただくこととなります。それをまとめて日本放射線技師会へ申請します。

詳しくは、NetworkNow 5月号をご覧ください。またご不明な点は、生涯学習推進委員会までお問い合わせください。